

# 神戸市内景況・雇用動向調査

## 第42回 結果報告書

令和6年3月

神戸市経済観光局

1. 調査の概要	1
2. 神戸経済の動向（2024年3月）～結果の概要～	3
（1）業況	6
（2）生産・売上	8
（3）原材料・仕入れ価格	10
（4）採算	12
（5）資金繰り	14

## 1. 調査の概要

- (1) 目的・内容 市内企業の短期的な景況と雇用に関する動向を把握する目的で、市内企業に対するアンケート調査、ヒアリング調査を一連の「神戸市内景況・雇用動向調査」として実施する。
- (2) 調査対象 市内に本社のある企業2,000社（回収数652、回収率：32.6%）

回収状況	市内本社企業			合計
	大規模	中規模	小規模	
製造業	1	55	82	138 (400)
食料品	0	9	7	16 (34)
化学・石油	0	6	10	16 (42)
ゴム	1	6	12	19 (58)
鉄鋼・金属	0	10	14	24 (49)
一般機械	0	6	5	11 (84)
電信・輸送	0	4	9	13 (60)
その他	0	14	25	39 (73)
非製造業	7	223	284	514 (1,600)
建設業	0	6	53	59 (125)
運輸・倉庫業	2	15	12	29 (70)
卸売業	0	34	38	72 (113)
小売業	2	42	56	100 (310)
不動産業	0	9	38	47 (111)
情報サービス	1	6	9	16 (36)
宿泊・飲食	1	29	15	45 (311)
対事業所	1	53	44	98 (286)
対個人	0	29	19	48 (238)
合計	8	278	366	652 (2,000)

(定義)

( ) 内は調査対象企業数

小規模・・・市内に本社があり、以下に該当するもの

（製造業その他）従業員数20人以下の企業

（商業・サービス業）従業員5人以下の企業

中規模・・・市内に本社があり、小規模に該当しない以下のもの

（製造業その他）資本金3億円以下又は従業員数300人以下

（卸売業）資本金1億円以下又は従業員数100人以下

（小売業）資本金5千万円以下又は従業員数50人以下

（サービス業）資本金5千万円以下又は従業員数100人以下

大規模・・・市内に本社があり、小規模、中規模のいずれにも該当しないもの

(分類)

製造業（7分類）食料品等、化学・石油製品等、ゴム製品製造業、鉄鋼・金属等、一般機械器具、電信・輸送機器等、その他の製造業

非製造業（9分類）建設業、運輸・倉庫業、卸売業、小売業、不動産業、情報サービス、宿泊・飲食サービス、その他の対事業所サービス、その他の対個人サービス

(3) 調査期間 2024年3月1日（金）～2024年3月20日（水）

(4) 集計・ 報告書の数値は、DI(ディフュージョンインデックス)を用いた。

表示方法

$$DI = X - Y$$

X = 上昇・増加・過剰・改善・過大と回答した企業の割合（%）

Y = 下降・減少・悪化・不足と回答した企業の割合（%）

※DIおよび時系列比較項目については無回答を除いて集計した。

※報告書内のグラフおよび数表の値は、単位未満を四捨五入しており、回答の小計および合計値が100%にならない場合がある。

## 2. 神戸経済の動向（2024年3月）～結果の概要～

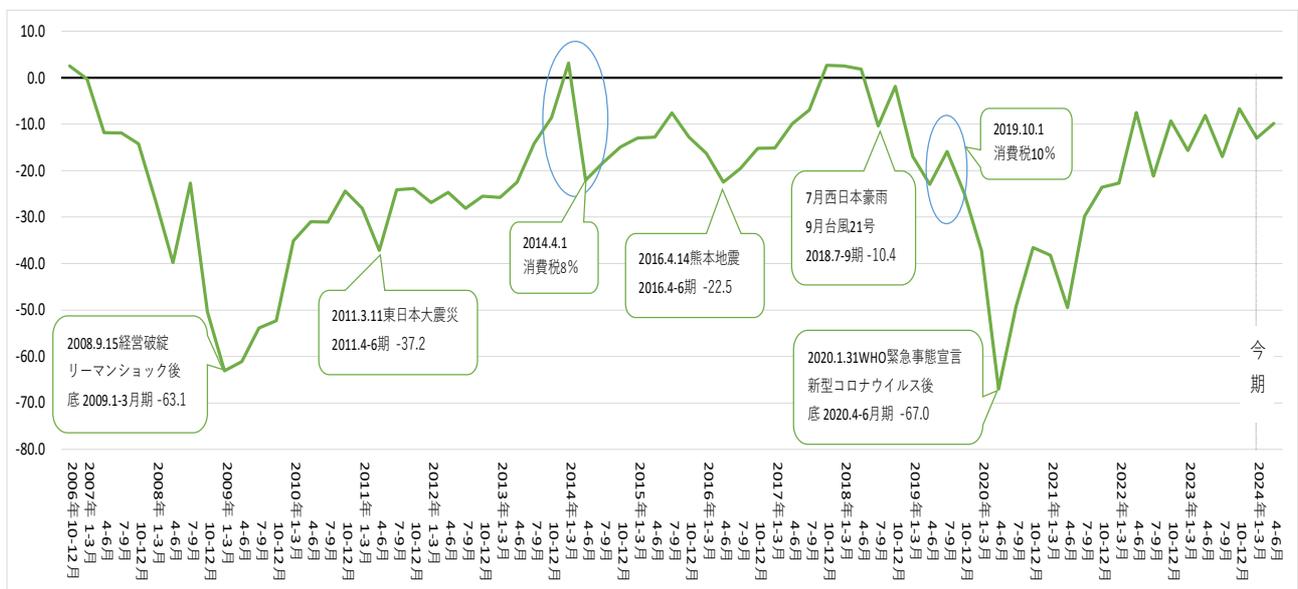
**自社業況DIは、全産業でマイナス 13.0 ポイントと、前期より 6.3 ポイントの低下**

**先行きについて、来期は増加傾向に転じる見通し**

- 今期（2024年1～3月期）の業況DIは▲13.0と、前期（▲6.7）と比べて6.3ポイント**低下**した。
- 業種別では、製造業の今期の業況DIは▲13.8と、前期（▲13.4）より0.4ポイント**低下**した。  
非製造業の今期の業況DIは▲12.8と、前期（▲4.7）より8.1ポイント**低下**した。
- 規模別では、大規模企業の今期の業況DIは▲62.5と、前期（6.6）より69.1ポイント**低下**した。  
中規模企業の業況DIは▲4.6と、前期（8.7）より13.3ポイント**低下**した。小規模企業の業況DIは▲18.3と、前期（▲20.4）より2.1ポイント**増加**した。
- 先行きについて、来期（2024年4～6月期）の業況DIは▲9.8と、今期（▲13.0）より3.2ポイント増加する見通し。

【調査対象】 市内企業2,000社（回収数：652社、回収率：32.6%）

【調査時期】 2024年3月1日（金）～2024年3月20日（水）

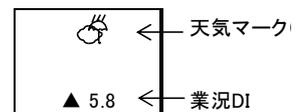


区分1	区分2	業況DI（上昇－下降）		
		2023.10～12	2024.1～3	2024.4～6 （予測）
全体		-6.7	-13.0	-9.8
規模別	大規模	6.6	-62.5	12.5
	中規模	8.7	-4.6	-1.4
	小規模	-20.4	-18.3	-16.7
業種別	製造業	-13.4	-13.8	0.0
	非製造業	-4.7	-12.8	-12.5

【業種別動向】(前期:令和5年10月~12月期、今期:令和6年1月~3月期、来期:令和6年4月~6月期)

区分1	区分2	前期	今期	来期	業種別のヒアリング対象企業のコメント
全体		▲ 6.7	▲ 13.0	▲ 9.8	以下、各業種におけるヒアリングのコメントを掲載。
製造業	食料品等	31.8	▲ 6.3	31.2	・前期はクリスマス等のイベントが多く、今期は閑散期となったが、来期は夏に向けて回復が見込まれる。(食品製造業) ・コロナ禍の中で動けなかった時に新商品の開発に注力していたことで今期から業況は好転した。(食品製造業)
	化学・石油製品等	▲ 14.3	▲ 6.3	6.3	・リサイクル品を原材料にして、海外へ販売を行っているため、国内の状況に影響されにくい。(プラスチック製品製造業) ・取引先の理解を得られて価格転嫁ができたため、来期は好転を期待している。(プラスチック製品製造業)
	ゴム製品製造業	▲ 26.3	▲ 36.8	5.2	・原材料高騰による利益の圧迫が厳しく、価格転嫁も難しく今期は厳しい状況となった。(ゴム製品製造業) ・今期は取引先の廃業によって減少したが、他の取引先との取引量が増えたため、来期は回復見込み。(ゴム製品製造業)
	鉄鋼・金属等	▲ 58.3	▲ 29.2	0.0	・製鉄所が使用する消耗品の製造を行っており、価格転嫁にも理解を得られたことで利益を維持している。(金属製品製造業) ・今期は公共工事が少なく減少したが、来期は万博などによって上昇に転じる見込み。(窯業・土石製品製造業)
	一般機械器具	0.0	▲ 45.4	▲ 45.5	・受注の大幅な減少に見舞われ、回復の目途はたっていない。(生産用機械器具製造業) ・長期案件が今期中に終了したため、来期は減少を見込むが、それに合わせて資金繰りを行って乗り切る。(生産用機械器具製造業)
	電信・輸送機器等	▲ 11.7	▲ 15.4	▲ 7.7	・今期は受注減少傾向にあり、来期も回復しない見通し。コロナ禍の影響が遅れて現れていると感じる。(輸送用機器器具製造業) ・電車部品の製造を行っており、今期は在庫調整もあって受注が減少、原材料高騰もあって厳しいが、来期は回復に転じる見込み。(輸送用機器器具製造業)
	その他の製造業	▲ 7.9	5.1	▲ 2.6	・トラックのオーバーホールを行っているが、小刻みな部品価格の上昇により来期は価格転嫁分を上回るペースにある。(その他の製造業) ・印刷業界はペーパーレスの影響から下降が続いており、特に金融機関の変化によるダメージが大きい。(印刷業)
非製造業	建設業	▲ 14.1	▲ 22.1	▲ 33.9	・今期は入札案件が少ない時期であるが、例年よりも落ち込んだ。来期から回復を見込むが先行きは不透明。(建設業) ・資材、産業廃棄物処理料金、人件費の値上げに加えて職人の高齢化も進んで新人の採用・育成にも力を入れている。(解体業)
	運輸・倉庫業	0.0	▲ 44.9	▲ 10.4	・倉庫業に於いては賃料収入であるため、安定した賃主により業況に変化は生じにくい。(倉庫業) ・取引先の業況に依存し、今期は伸び悩んだが、来期は回復に向かう見込みであるが、人件費や燃料費の高止まりによって資金繰りや採算面は厳しい。(運送業)
	卸売業	0.0	▲ 12.5	▲ 15.3	・市場での単価が下がったため、下降が続いている。販売数量を増やすことで単価の下降分の補填を行えるように努めている。(その他卸売業) ・価格転嫁に苦戦しており、下降が続いているが、値上げによる顧客離れも懸念される難しい局面。(各種商品卸売業)
	小売業	▲ 23.6	▲ 17.0	▲ 15.0	・書道人口が減少したため売り上げも減少。好転させる手立ても無く、減少の流れは止まらない。(その他の小売業) ・酒に特化した酒店へのニーズは縮小一途で新たな商材を扱う必要がある。(飲料品小売業)
	不動産業	▲ 13.1	▲ 8.5	▲ 4.2	・不動産賃貸であるため、比較的安定しているが、同業の廃業も続いており、業界全体は縮小傾向と考えている。(不動産賃貸業) ・今期は引越しシーズンとなるため、資金繰りが若干悪化した。業況自体は安定している。(不動産賃貸業)
	情報サービス	▲ 4.7	12.5	▲ 12.5	・仕入れ値に加えて取付工事も外部委託であるため、2重の値上がりに苦戦。来期は売値にどこまで反映させるか検討している。(通信サービス) ・映像制作を行う上で依頼元の予算が縮小した場合などに値下げ交渉が入り粗利が減少することが多く、来期はその流れが顕著に現れる見込み。(情報サービス)
	宿泊・飲食	29.5	6.7	8.9	・近隣にあった商業施設が閉店したため、今期に続いて来期は減少する。(飲食業) ・価格転嫁は顧客の理解を得られたが、人手不足によって営業日の減少を余儀なくされた。(飲食業)
	対事業所サービス	1.1	▲ 12.3	▲ 16.4	・機械修理を行ってきたが、扱う機械が減少しているため、業況は縮小している。(機械修理業) ・人材サービスを展開し、対企業との長期契約であるため、業況は比較的安定しており、原材料価格上昇の影響も受けにくい。(人材サービス業)
	対個人サービス	▲ 2.1	▲ 6.3	2.1	・数量を増やす売上を増加させて利益を確保。来期も経費の増加はあるものの、業況は現状より悪くなることは無い。(教育・学習支援業) ・着付け教室を展開しているが、コロナ禍より下降が続いており、景気が大きく上向かない限り回復は見込んでいない。(教育・学習支援業)

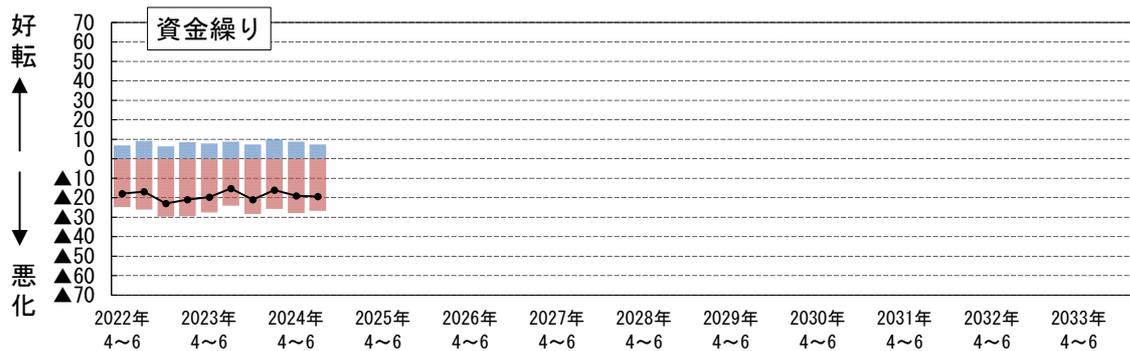
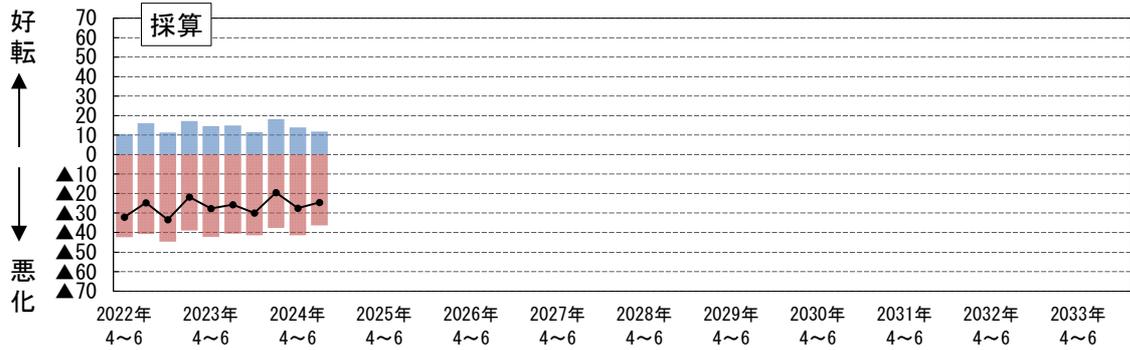
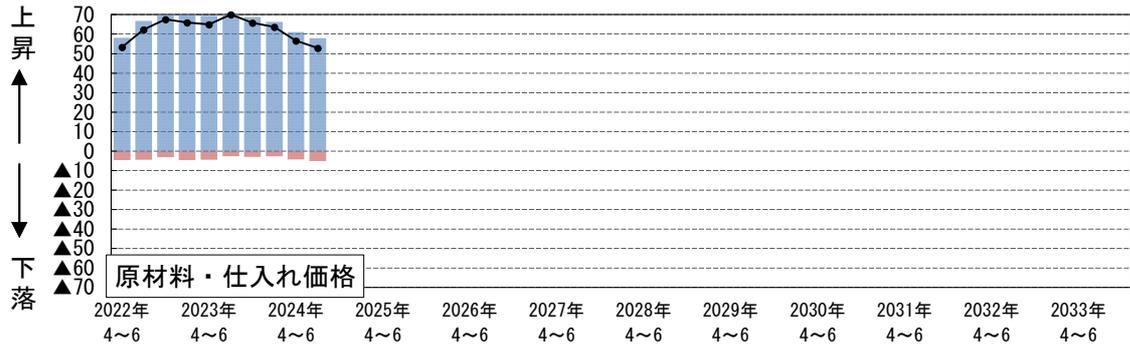
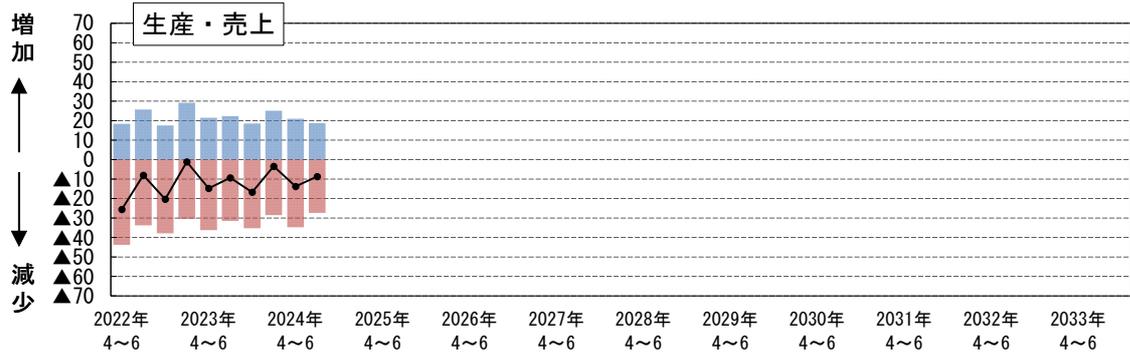
※今期のDI(全規模)が前期よりも10ポイント以上差がある業種については、矢印を表記している。  
※表中の見方は右図の通り。



DI	▲60.1以下	▲60.0~▲40.1	▲40.0~▲20.1	▲20.0~▲5.1	▲5.0~5.0	5.1~20.0	20.1以上
天気							

(参考資料)

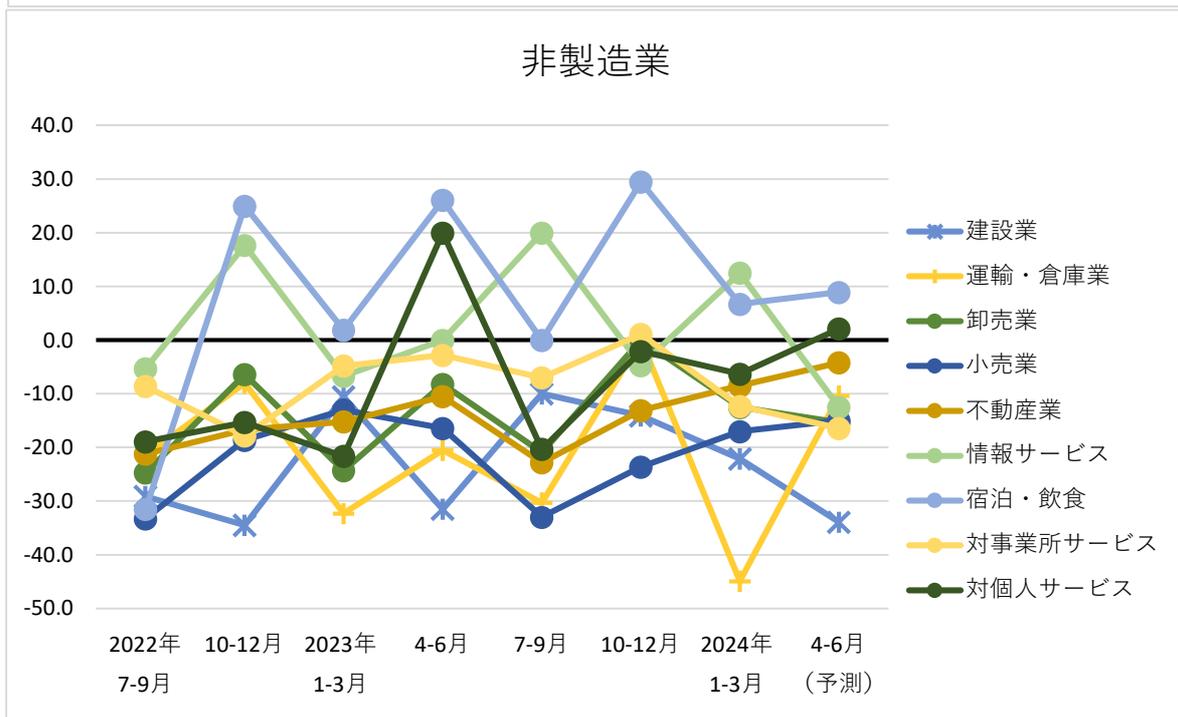
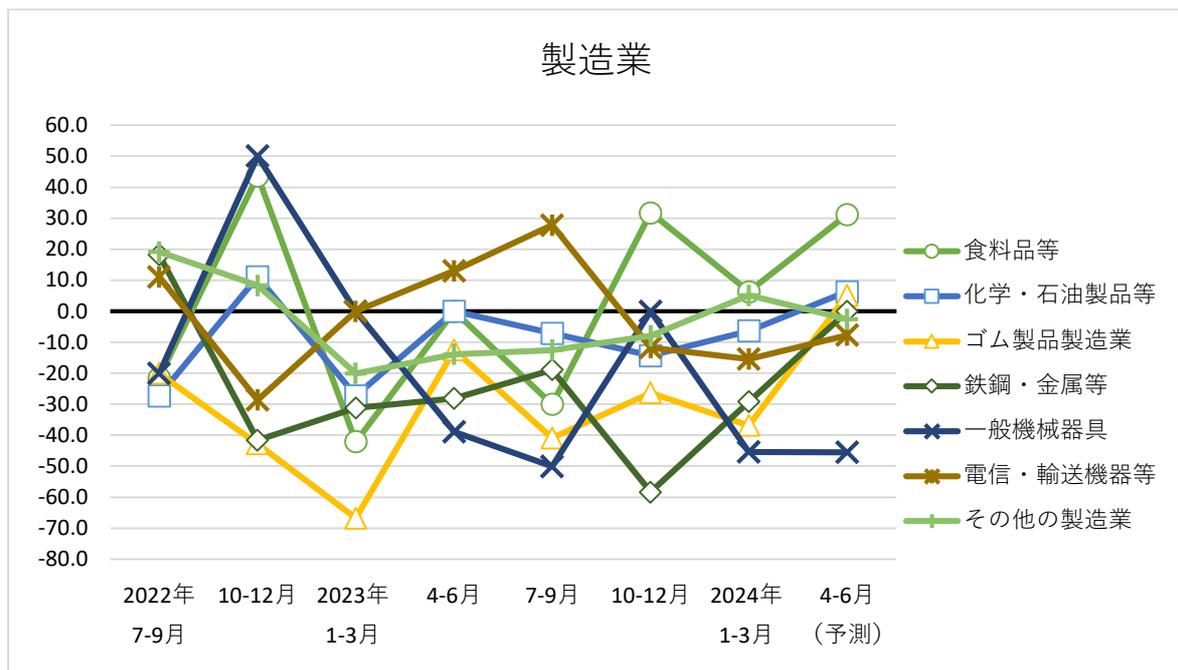
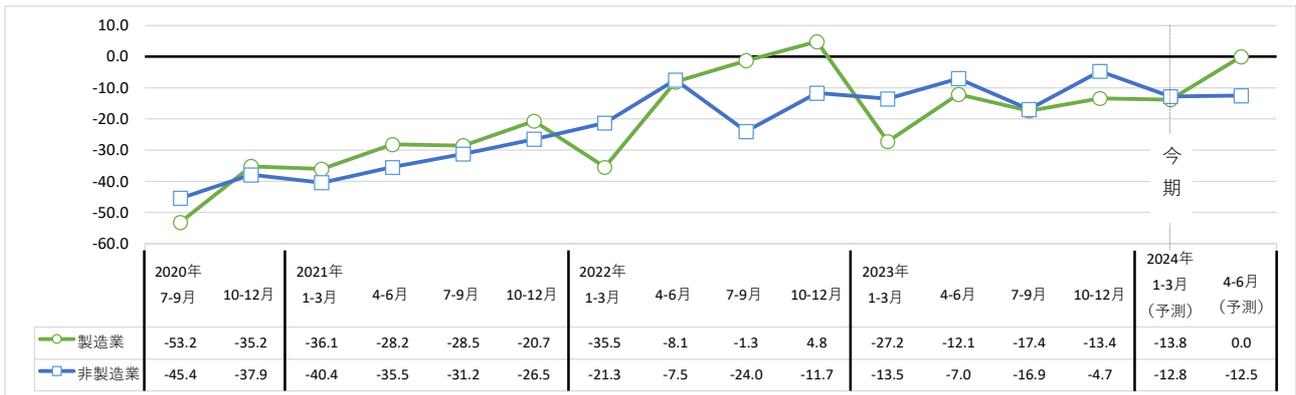
主要指標の推移



(1) 業況

「各四半期の業況が直前の期と比較してどう変化したか」についてたずねた。

\*各期の指標 (DI) = 「上昇と回答」 (%) - 「下降と回答」 (%)

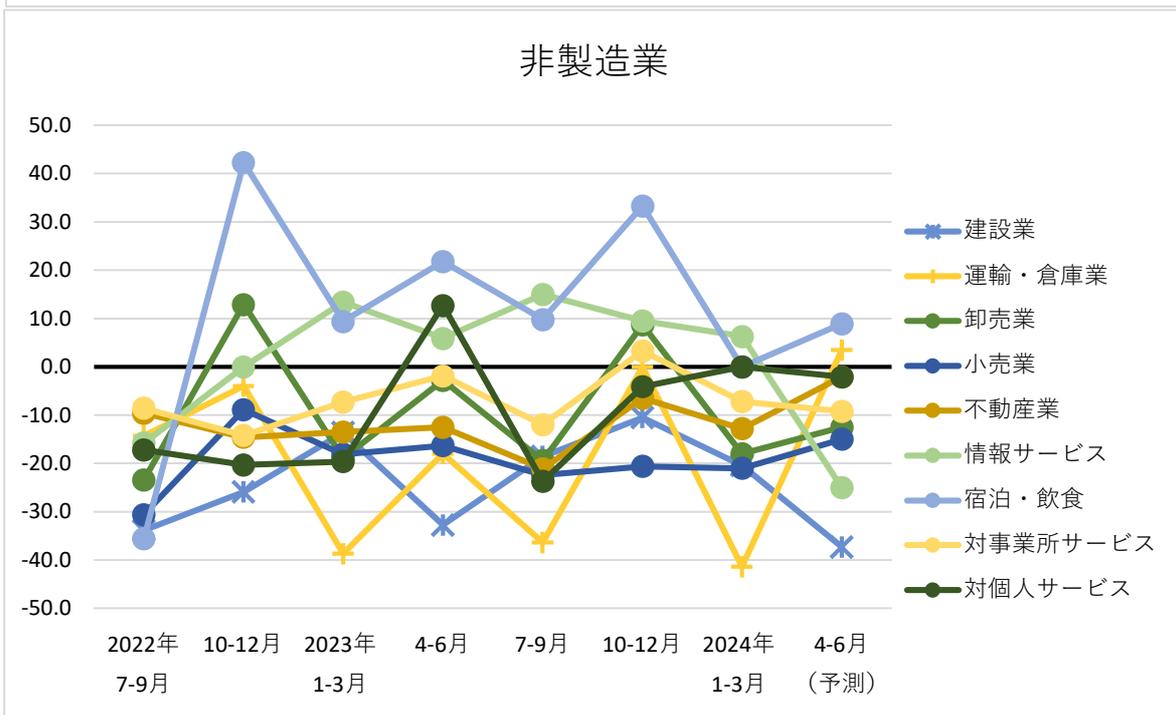
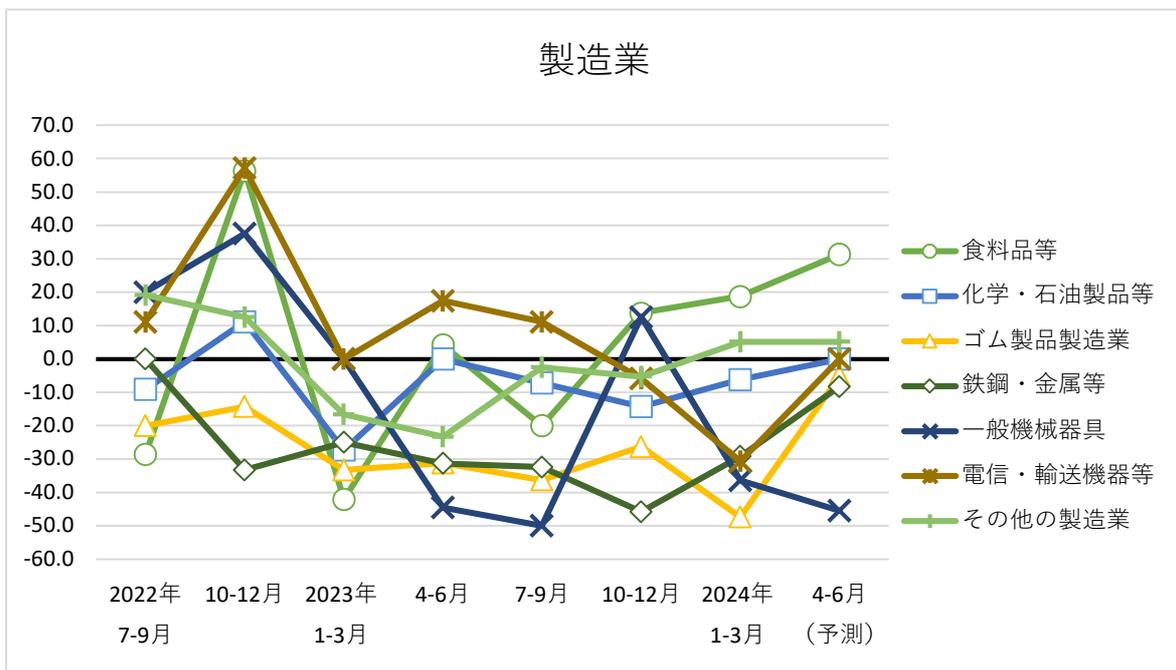
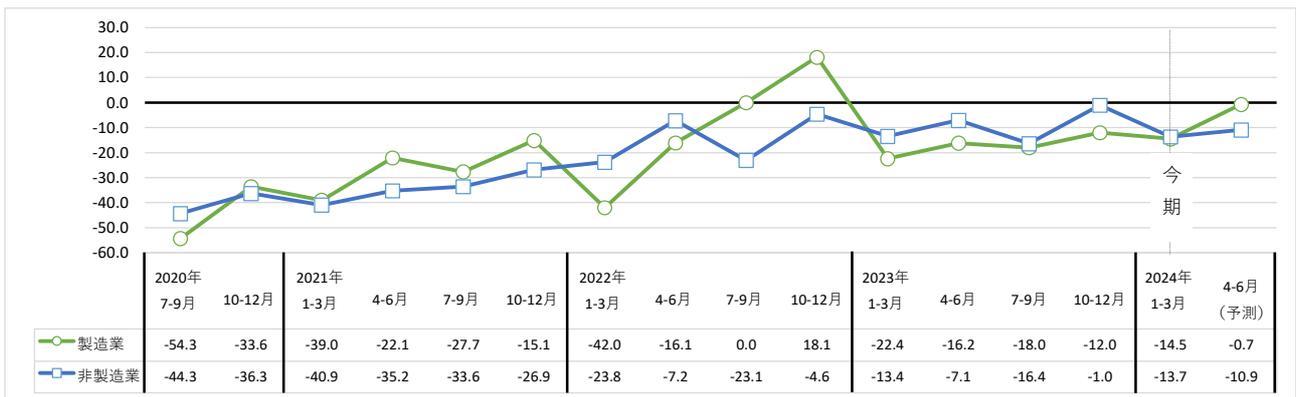


区分1	区分2	区分3	業況DI（上昇－下降）			
			2023.10~12	2024.1~3	2024.4~6 （予測）	
全体			-6.7	-13.0	-9.8	
規模別	大規模		6.6	-62.5	12.5	
	中規模		8.7	-4.6	-1.4	
	小規模		-20.4	-18.3	-16.7	
業種別	製造業		-13.4	-13.8	0.0	
		食料品等	31.8	6.3	31.2	
		化学・石油製品等	-14.3	-6.3	6.3	
		ゴム製品製造業	-26.3	-36.8	5.2	
		鉄鋼・金属等	-58.3	-29.2	0.0	
		一般機械器具	0.0	-45.4	-45.5	
		電信・輸送機器等	-11.7	-15.4	-7.7	
		その他の製造業	-7.9	5.1	-2.6	
		非製造業		-4.7	-12.8	-12.5
		建設業		-14.1	-22.1	-33.9
		運輸・倉庫業		0.0	-44.9	-10.4
		卸売業		0.0	-12.5	-15.3
		小売業		-23.6	-17.0	-15.0
		不動産業		-13.1	-8.5	-4.2
		情報サービス		-4.7	12.5	-12.5
		宿泊・飲食		29.5	6.7	8.9
	対事業所サービス		1.1	-12.3	-16.4	
	対個人サービス		-2.1	-6.3	2.1	

(2) 生産・売上

「各四半期の生産・売上が直前の期と比較してどう変化したか」についてたずねた。

\*各期の指標 (DI) = 「増加と回答」 (%) - 「減少と回答」 (%)

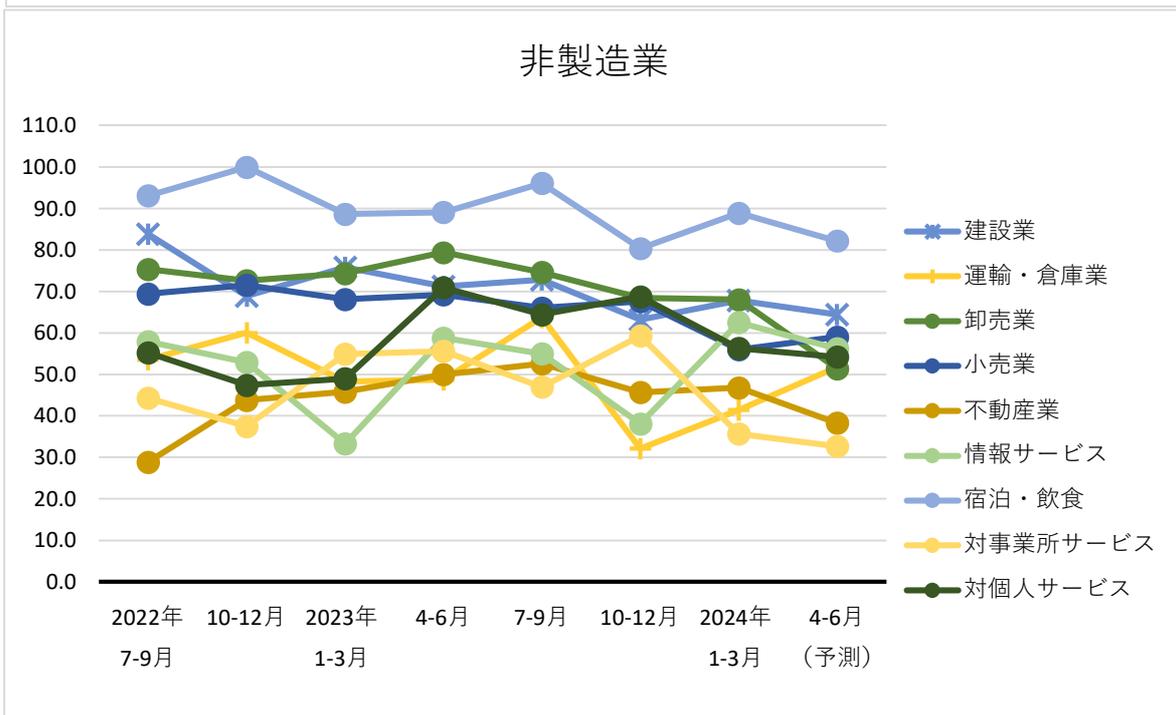
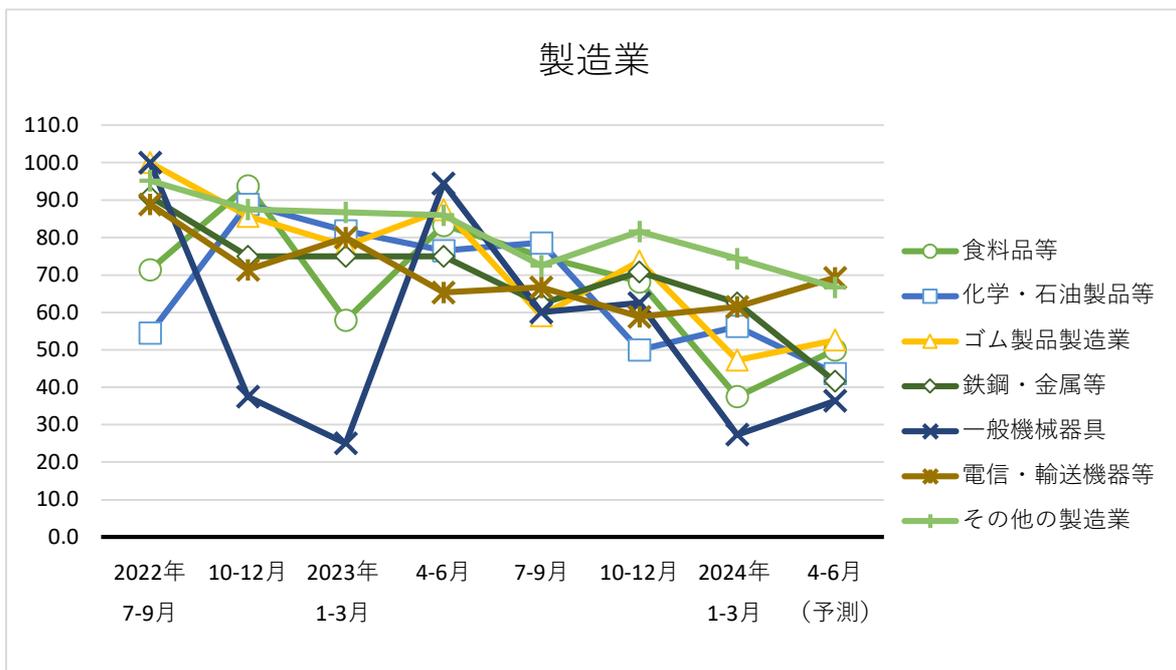
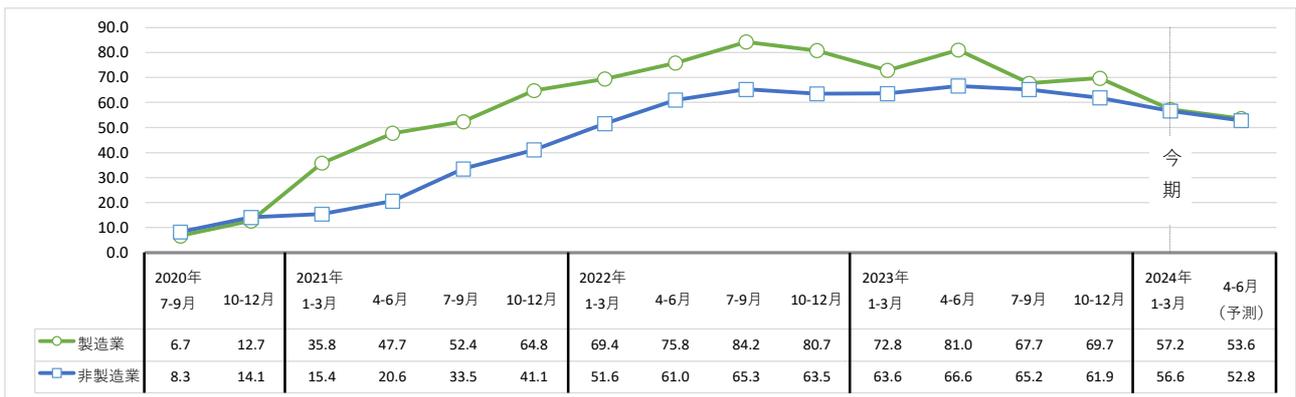


区分1	区分2	区分3	生産・売上DI（増加－減少）			
			2023.10~12	2024.1~3	2024.4~6 （予測）	
全体			-3.5	-13.8	-8.7	
規模別	大規模		13.3	-50.0	25.0	
	中規模		11.4	-4.4	3.3	
	小規模		-16.8	-20.2	-18.5	
業種別	製造業		-12.0	-14.5	-0.7	
		食料品等	13.7	18.7	31.3	
		化学・石油製品等	-14.3	-6.2	0.0	
		ゴム製品製造業	-26.3	-47.4	-5.2	
		鉄鋼・金属等	-45.8	-29.2	-8.3	
		一般機械器具	12.5	-36.4	-45.5	
		電信・輸送機器等	-5.9	-30.7	0.0	
		その他の製造業	-5.3	5.1	5.1	
		非製造業		-1.0	-13.7	-10.9
		建設業		-10.5	-20.4	-37.3
		運輸・倉庫業		0.0	-41.4	3.5
		卸売業		8.7	-18.0	-12.5
		小売業		-20.6	-21.0	-15.0
		不動産業		-6.5	-12.8	-2.1
		情報サービス		9.5	6.3	-25.0
		宿泊・飲食		33.3	0.0	8.9
	対事業所サービス		3.3	-7.2	-9.2	
	対個人サービス		-4.1	0.0	-2.1	

### (3) 原材料・仕入れ価格

「各四半期の原材料・仕入れ価格が直前の期と比較してどう変化したか」についてたずねた。

\*各期の指標 (DI) = 「上昇と回答」 (%) - 「下落と回答」 (%)

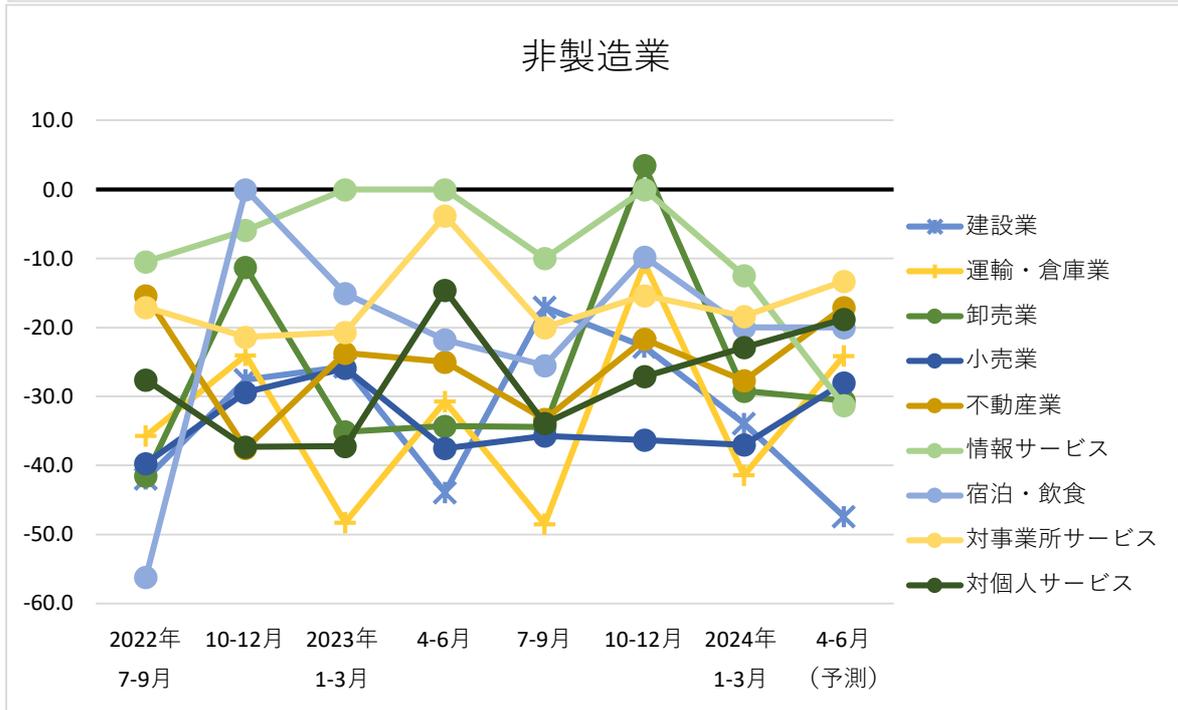
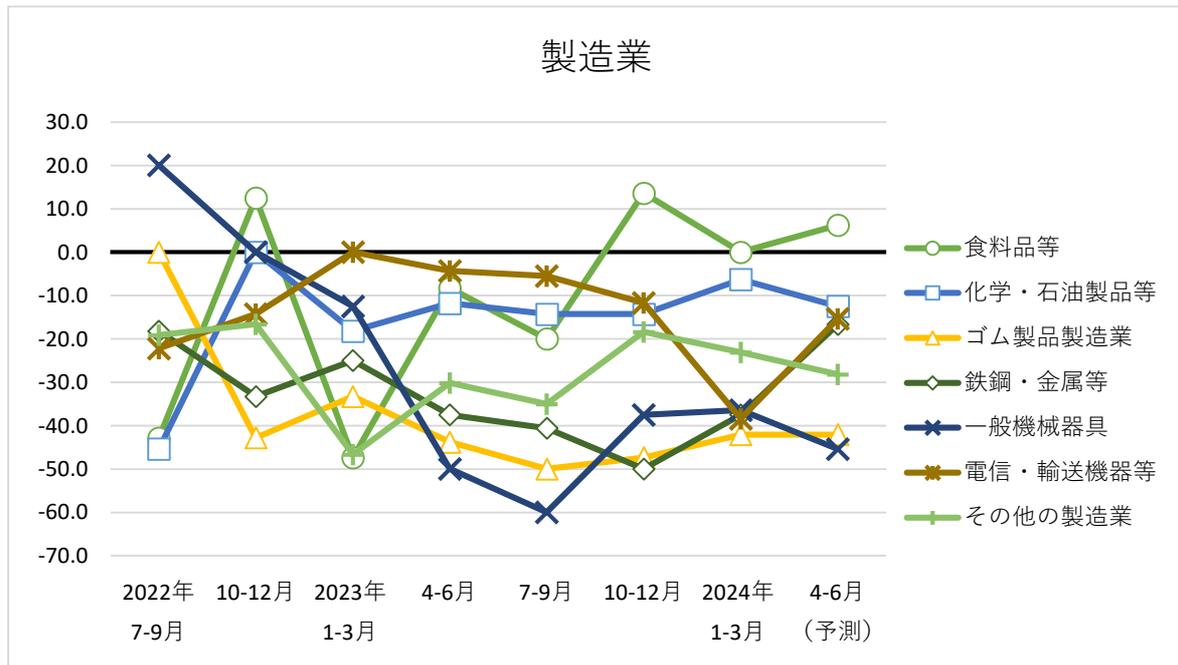
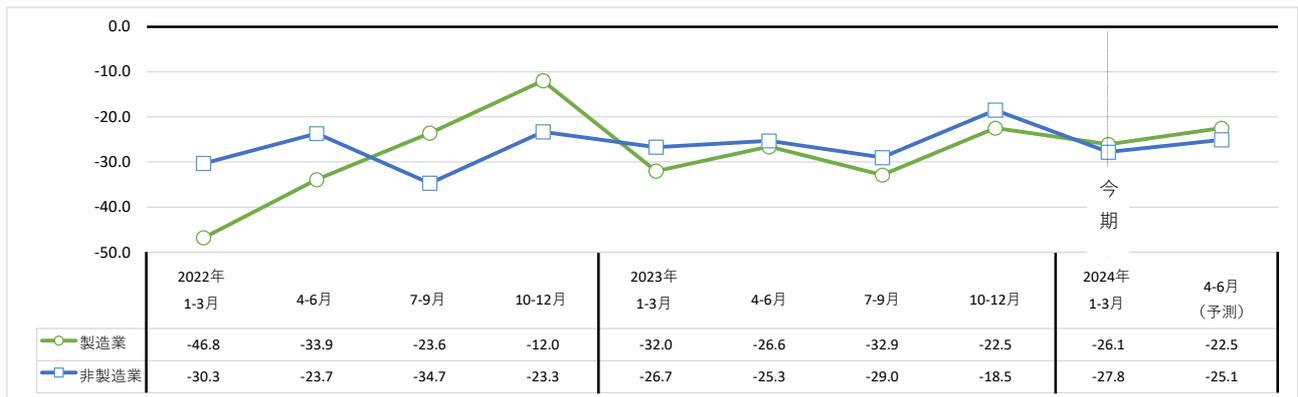


区分1	区分2	区分3	原材料・仕入れ価格（上昇一下落）			
			2023.10~12	2024.1~3	2024.4~6 （予測）	
全体			63.7	56.7	52.9	
規模別	大規模		53.3	25.0	25.0	
	中規模		66.1	57.9	57.5	
	小規模		62.0	56.5	50.0	
業種別	製造業		69.7	57.2	53.6	
		食料品等	68.2	37.5	50.0	
		化学・石油製品等	50.0	56.3	43.7	
		ゴム製品製造業	73.7	47.3	52.6	
		鉄鋼・金属等	70.8	62.5	41.6	
		一般機械器具	62.5	27.3	36.4	
		電信・輸送機器等	58.8	61.5	69.2	
		その他の製造業	81.6	74.4	66.7	
		非製造業		61.9	56.6	52.8
		建設業		63.2	67.8	64.4
		運輸・倉庫業		32.1	41.4	51.7
		卸売業		68.4	68.0	51.4
		小売業		67.6	56.0	59.0
		不動産業		45.7	46.8	38.3
		情報サービス		38.1	62.5	56.2
		宿泊・飲食		80.4	88.9	82.2
	対事業所サービス		59.3	35.7	32.7	
	対個人サービス		68.7	56.3	54.2	

(4) 採算

「各四半期の採算が直前の期と比較してどう変化したか」についてたずねた。

\*各期の指標 (DI) = 「好転と回答」 (%) - 「悪化と回答」 (%)

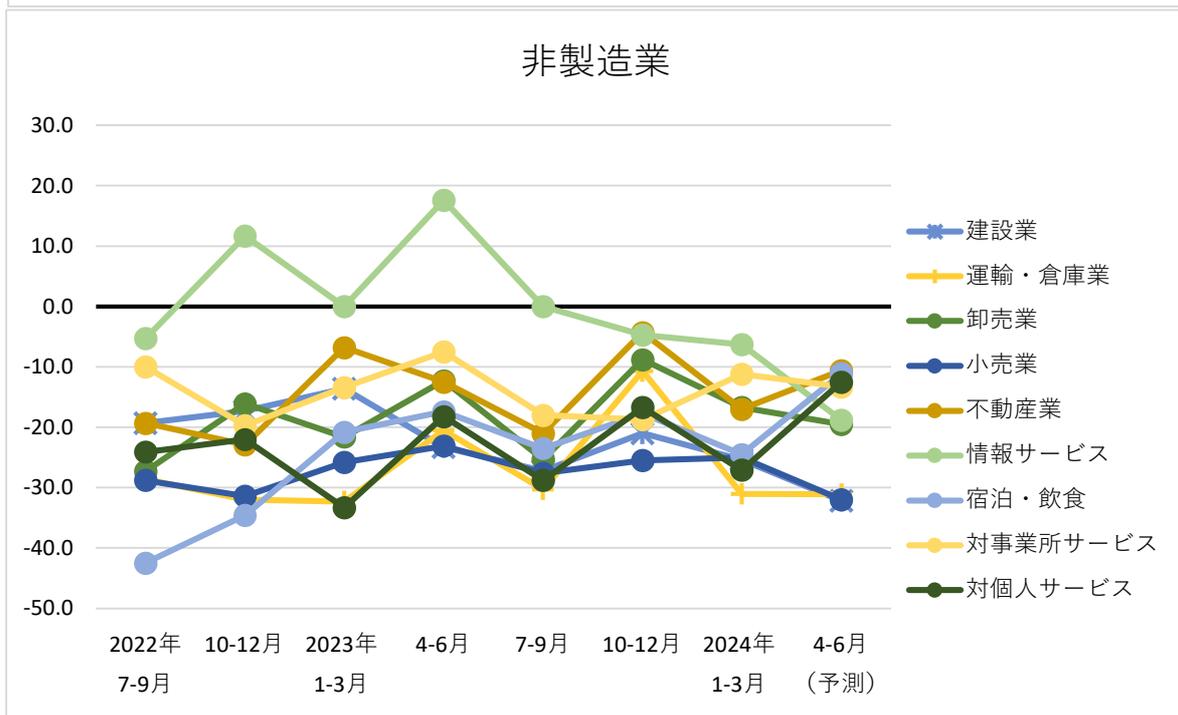
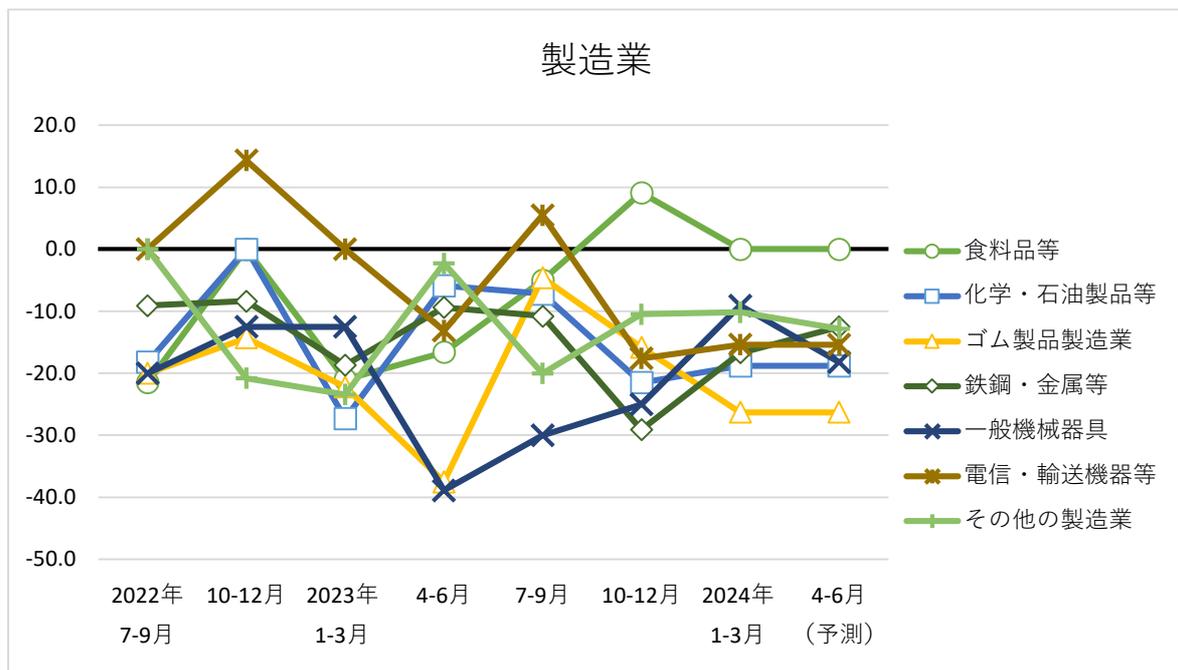
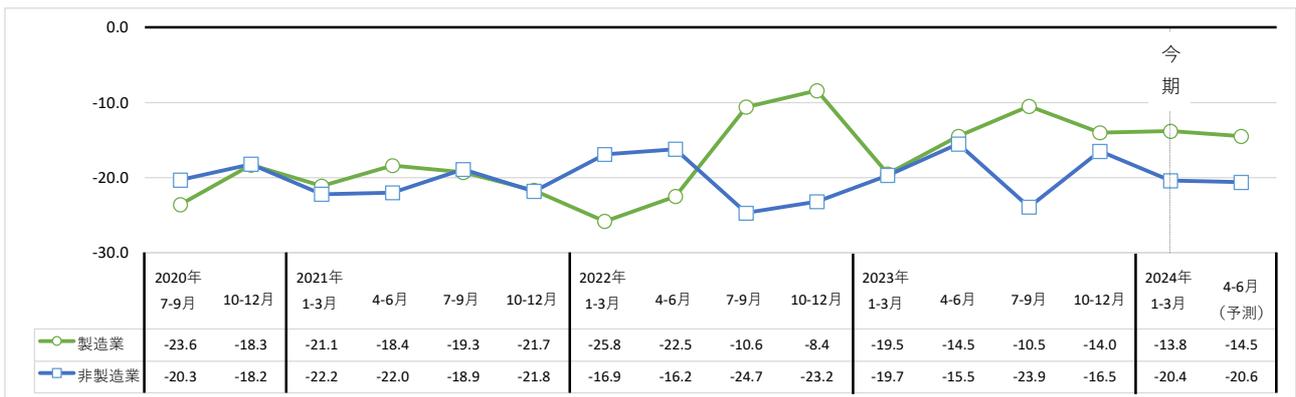


区分1	区分2	区分3	採算（好転－悪化）			
			2023.10~12	2024.1~3	2024.4~6 （予測）	
全体			-19.4	-27.4	-24.5	
規模別	大規模		-13.3	-62.5	12.5	
	中規模		-7.6	-14.8	-14.1	
	小規模		-29.8	-36.4	-33.3	
業種別	製造業		-22.5	-26.1	-22.5	
		食料品等	13.6	0.0	6.2	
		化学・石油製品等	-14.3	-6.3	-12.5	
		ゴム製品製造業	-47.4	-42.1	-42.1	
		鉄鋼・金属等	-50.0	-37.5	-16.7	
		一般機械器具	-37.5	-36.4	-45.4	
		電信・輸送機器等	-11.7	-38.4	-15.4	
		その他の製造業	-18.4	-23.1	-28.2	
		非製造業		-18.5	-27.8	-25.1
		建設業	-22.8	-33.9	-47.4	
		運輸・倉庫業	-10.7	-41.4	-24.1	
		卸売業	3.5	-29.2	-30.6	
		小売業	-36.3	-37.0	-28.0	
		不動産業	-21.7	-27.7	-17.1	
		情報サービス	0.0	-12.5	-31.3	
		宿泊・飲食	-9.8	-20.0	-20.0	
	対事業所サービス	-15.4	-18.4	-13.3		
	対個人サービス	-27.1	-22.9	-18.8		

(5) 資金繰り

「各四半期の資金繰りが直前の期と比較してどう変化したか」についてたずねた。

\*各期の指標 (DI) = 「好転と回答」 (%) - 「悪化と回答」 (%)



区分1	区分2	区分3	資金繰り（好転－悪化）			
			2023.10~12	2024.1~3	2024.4~6 （予測）	
全体			-16.0	-19.0	-19.3	
規模別	大規模		13.4	-12.5	0.0	
	中規模		-2.8	-11.5	-9.7	
	小規模		-28.6	-24.9	-27.0	
業種別	製造業		-14.0	-13.8	-14.5	
		食料品等	9.1	0.0	0.0	
		化学・石油製品等	-21.5	-18.8	-18.8	
		ゴム製品製造業	-15.8	-26.3	-26.3	
		鉄鋼・金属等	-29.1	-16.7	-12.5	
		一般機械器具	-25.0	-9.1	-18.2	
		電信・輸送機器等	-17.6	-15.4	-15.4	
		その他の製造業	-10.5	-10.2	-12.8	
		非製造業		-16.5	-20.4	-20.6
		建設業	-21.0	-25.4	-32.2	
		運輸・倉庫業	-10.7	-31.0	-31.1	
		卸売業	-8.8	-16.7	-19.5	
		小売業	-25.5	-25.0	-32.0	
		不動産業	-4.3	-17.0	-10.6	
		情報サービス	-4.7	-6.3	-18.8	
		宿泊・飲食	-17.7	-24.5	-11.1	
		対事業所サービス	-18.7	-11.2	-13.3	
	対個人サービス	-16.7	-27.1	-12.5		

## 第42回 神戸市内景況・雇用動向調査

### <結果報告書>

企画実施：神戸市経済観光局経済政策課  
〒651-0087 神戸市中央区御幸通 6-1-12

調査委託：株式会社東京商工リサーチ 神戸支店  
〒651-0087 兵庫県神戸市中央区御幸通 6-1-10